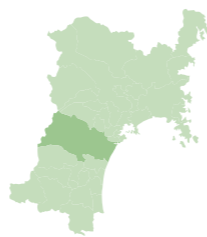


# 簡単、安心、低価格がキーワード 業界に革新を起こした介護ソフト



仙台市

## 簡単に覚えやすく、使いやすい 現場主義の介護ソフト「ケア樹」

株式会社グッドツリーが開発した「ケア樹(き)」は、介護請求・介護記録業務機能を、業界で初めて月額利用料0円で提供したクラウド型介護業務支援サービスだ。同製品の長は、簡単、安心、低価格の3つ。パソコンはもちろん、iPadで手軽に介護サービスの実施記録が取れる簡便性に加え、クラウド基盤はサーバー稼働率の99.95%以上が保証されている「Amazon AWS」を活用し、世界トップクラスの信頼性を確保。そして、全てのオプションを加えても市場相場の約5分の1の価格となる低コスト。こうした点が支持され、現在は全国1,500超の事業所がシステムを導入している。同社は、この大樹に育ちつつある

ケア樹の最初の開発を試みた平成23年度に応援基金を活用した。

## 被災地の介護事業所の打診が、開発のきっかけに

平成17年に設立された同社は、オフショア開発を得意とするIT企業で、当時は大手からの受託や派遣を中心に業務を展開していた。転機が訪れたのは、東日本大震災。すべての業務が一時休止となる中で、社員たちはボランティア活動を始め、被災地へ支援物資の配達を行っていた。その配達先の一つであった特別養護老人ホームから「使用している介護ソフトが高い割には使いづらい。安く運用できるシステムを作ってくれないか」と強い要望を受けたのだ。当時、同社に介護ソフト開発の実績はなかったが、被災した事業所からの

言葉に突き動かされ、開発を目指すこととなった。

震災前の介護ソフトはインストール型が大半で、導入時に膨大な費用がかかる上、定期的な制度改正の対応でコストがかかり、経済的に事業所の運営を圧迫していた。また多くの事業所が活用するため、機能が最大公約数で搭載されており、事業所によっては使わない機能や複雑すぎる機能も多かった。さらに、今回の大震災で被害を受けた事業所のうち、約7割が蓄積していたデータを失ったという統計があり、BCPの観点においてもインストール型の課題が指摘されていた。

こうした状況を踏まえて、同社は介護現場で本当に役立つ、安く信頼性の高いクラウド型のシステムの開発を目指すこととなった。震災直後は2名まで減ってしまっ

採択年度	平成23年度	事業テーマ	介護事業向けウィングSaaS型サービス ～介護老人福祉施設管理システム～
事業区分	■創業・新事業創出支援事業		

た社員だったが、応援基金の活用を契機に7名まで増員し、システム開発への準備を整えることができた。

## ノウハウ不足や人材不足を、さまざまなサポートで補う

開発を始めるにあたり、課題となったのは3点。1点目は平成12年に施行された介護保険制度に準拠した介護ソフトはすでに100社以上も市場に出回っており、後発での開発であったこと。2点目は介護ソフト開発の実績がなく、介護保険制度の知識や、開発のためのノウハウがなかったこと。そして、3点目は社員を増員してなお、技術者が不足していたことだ。

介護保険請求業務を中心とする介護ソフトは、制度に沿ったシステム開発が必須であるため、製品ごとのオリジナリティが出しづらいという難点がある。後発でありながら市場にインパクトを与える製品づくりのために、同社は当時まだ珍しかったクラウド型に着目。インストール型に比べて圧倒的な低コストで導入できる点に、製品の優位性を求めた。

また、介護ソフトの開発実績がないとい

う課題に対しては、開発のきっかけを作ってくれた事業所から、介護の基本業務や課題について細かくヒアリングを行うことや、介護業務に詳しいSEの協力を得ることで不足を補った。

さらに技術者不足に関しては、得意とするオフショア開発を活かし、中国・西安のパートナー企業に打診。開発のピーク時には30人弱を集め、開発業務を委託することができた。

## 新しいビジネスモデルを実現し、介護事業所と高齢者に幸せを

平成23年度採択の応援基金では、同製品の特別養護老人ホーム版を開発し、その後4回にわたり同基金に採択された。現在、同製品のシリーズは介護保険請求関連でサービスごとに20を数え、リリース後5年半で急成長を遂げた。

今後同社は、300億円の市場規模がある介護保険請求にかかるビジネスモデルを、クラウド型システムによって刷新しようとしている。クラウド型システムはデータを収集するツールととらえ、集めたデータを分析し、より付加価値の高いサービスを



「ペッパー」との遊び等を通して利用者とのコミュニケーションや業務支援を図る「ケア樹あそぶ」

提供することで新たなビジネスチャンス構築するのだ。すでに、介護保険外の付加価値の高いサービスとして、ソフトバンクのヒト型ロボット「ペッパー」向け介護アプリ「ケア樹あそぶ」を含む4製品をリリースし、手応えも感じている。

同社はこうした取り組みを拡充させることにより、経営難や人手不足等、さまざまな課題を抱える介護事業所に貢献することはもとより、事業所を利用する高齢者の幸せのために貢献していきたいと考えている。

### 製品概要

製品名 ケア樹シリーズ

初期費用10,000円(税別)～、事務手数料9,800円(税別)/年、サポート費用(任意)1,000円(税別)～/月

仕様 IE11以上、Firefox30以上、Chrome36以上、Safari5.1.1以上  
通信接続環境 ブロードバンド接続(ADSL/光通信)、ディスプレイ解像度1024x768ピクセル

その他 発注要件:新規アカウント開設は1営業日(データコンパート、導入指導等除く)

月額0円の介護ソフトとして、介護保険請求業務や介護記録業務等のサービスを提供。また最新のIT技術を用いた製品開発やビッグデータ分析を行う「ケア樹2.0」をコンセプトに、ペッパーによる業務支援アプリ「ケア樹あそぶ」等、付加価値の高いサービスも提供。

お問合せ/株式会社グッドツリー  
Mail/HelpMan@GoodTree.jp

## 企業概要

社名	株式会社グッドツリー
事業内容	システム開発
代表者	代表取締役 社長 西原 翼
設立年	平成17年1月11日
所在地	宮城県仙台市泉区泉中央1-7-1 泉中央ビル4F
TEL	022-341-6380
FAX	022-341-6381
URL	http://www.goodtree.jp
従業員数	22人
資本金	4,000万円



社名「グッドツリー」の名にちなみ、オフィスには大樹の絵画や観葉植物が飾られている

## 企業の紹介

企業理念は「良い樹(事業)を創る会社」。良い事業とは、その事業に関わる分野において、一番多くのお客様(ファン)に信頼され、さらに継続的にお客様を増やすプロセスを確立していること。良い事業が出来ることによって、多くのお客様とパートナー様に喜んでいただき、社員が物心共に豊かになり、最終的に社会的な貢献を目指すことができる。行動指針は「高い目標を持つこと」「有言実行」「プロフェッショナル」「プロセス化」「イノベーション精神」の5つ。

## 助成金を活用した感想

私(代表)の出身地中国では、中小企業への助成金がほとんどない。幸い日本には応援基金のような助成金があり、当社のような中小企業も新たな事業を始めることができ、大変助かる。応援基金には、平成23年度の採択を皮切りに、これまで5回に渡ってお世話になった。おかげさまで震災後に立ち上げた「ケア樹」事業は売上5倍、社員数は6倍まで成長できた。北海道から沖縄まで、1,500以上の介護事業所が「ケア樹」を利用している。これからも被災地で生まれた「ケア樹」を大きく育てていき、全国に発信していきたい。